

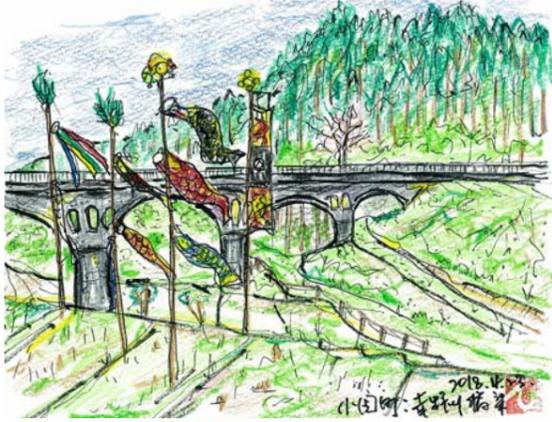
晴耕雨読

49

発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
 建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業・地質業登録
 〒869-1234
 熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
 本社:熊本市/八代支店/合志営業所
 TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
 E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol 49 May 2018

鯉のぼりが風に舞う季節となりました。如何お過ごしでしょうか？



熊本県小国町は私が好きな町の1つ、この時期は風薫る五月で山の若葉の緑と田植準備の水田の緑が実に美しい。その中の主役は上図スケッチの鯉のぼり。男子の誕生に勇装に青空に舞う姿は過疎化の中にあっても朗報であり、熊本の象徴的な原風景で素晴らしい!その子の成長を願う。H/N



くまもと創生へのみちしるべ

地域住民主体で救護活動を実践した一校区。この地域は普段から隣保班を通じて住民同士の意志疎通を図っている。顔が見える城下町の祭りなどを通して子どもから老人まで一緒に過ごす時間があり、それが伝統となり、周りとの結びつきが強い町を築いた。熊本地震の際にその能力を発揮しました。H/N



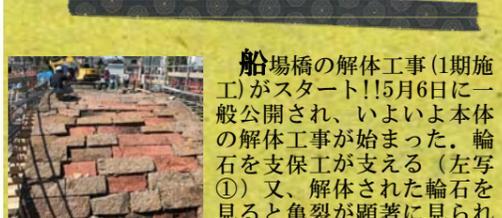
御船町の下鶴目鐵橋 ~もうすぐ完成~



船場橋もちゃくちゃくと復旧工事が進んでいます!!



H28年の熊本地震で壁石や高欄等が損傷し、今年1月から本格的工事に着手し、5月ではほぼ完成。見所は桜と高欄・親柱・束柱の意匠が更に素晴らしい。一度訪ねてみて下さい。この工事には山口県職員も頑張っておられます。H/N



船場橋の解体工事(1期施工)がスタート!!5月6日に一般公開され、いよいよ本体の解体工事が始まった。輪石を支保工が支える(左写①)又、解体された輪石を見ると亀裂が顕著に見られる。ピンク色の馬門石が象徴的なのが本橋の特徴(写真②) H/N

身近な環境への思い

Human Architectur

「ほとりの森」を見つけた (御船町吉無田)



4月初めに、吉無田高原フットパスに参加し「ほとりの森」(穂を取るから名づけられた)を見つけた。ここは、戦後の拡大造林期に母樹から杉の苗を作った畑である。挿し木用の苗を取るため、横へ横へと枝がたくさん出るように剪定したため、自然の杉とは全く異なる独特の樹形となっている。何とも幻想的な風景である。N/S



橋梁技術者の特典をご存知ですか?それは誰よりも早く渡り初めができることです。欠点は家族との距離が遠いことでしょうか... 架設は予算都合で年度末が多くなります。以前、ある現地で特権を行使していたら、一面の「いぬふぐり」そういえば川の名前は「逢妻川」電子の網によると、逢妻男川と逢妻女川が合流し逢妻川となること。熊本では黒白争って白の勝ち、ここでは最初から妻の勝ち。M/T

『縁』とは不思議なものである。こうして建設プロジェクトセンターにお世話になることとなったのも、何処でどう繋がっているのか分からない運命の糸みたいなものに導かれたような気がしております。この時、改めて『縁とは不思議なものだな〜』と痛感したところです。その時に頭に浮かんだ言葉として『風(かぜ)が吹けば桶屋(おけや)が儲(もう)かる』(風が吹くと土ほこりがたつて目に入り盲人が増える。盲人は三味線で生計を立てようとするから、三味線の胴を張る猫の皮の需要が増える。猫が減るとねずみが増え、ねずみが桶をかじるから桶屋がもうかって喜ぶということ。)ということわざです。世の中というのは、目に見えるもののみではなく、見えないものも含めてすべてが何らかの糸で結ばれている世界なのかもしれないと思ったところです。K/K

新たな都市空間の創出(御船町の風景)



都市部の河川空間、市街地の緑地を含む道路空間は、人の心を癒す空間でもあります。御船町を通る国道443号線は、道路景観型で整備されており、中央分離帯は敷き砂利と張芝を伴う四角錐の台座土と1本の中木の植樹で構成。非常にシンプルながらも考慮工夫された明るい空間と町づくりを創出しています。まるで公園や盆栽アートの世界と感ずつつも何故かホッとする安らぎと親しみも感じます。近年緑地植林にまつわる高木枝の伐採・根上り防止対策・樹木等の管理・費用が大きな問題となっており、当箇所は施工後4年程度、通行する毎に関心を持って観察していますが、雑草の繁茂なく済んでおり、維持管理も簡単で経済的。今後の整備における一考に値する観点・手法のように思っています。B/I

建プロ農園復活!! 早く大きくなれ~



熊本地震で休んでいた農園を今年から再スタート!!きゅうり・ピーマン・ナスそして一押しりの里いも。順調に成長してくれる事を願って★密かに黄色スイカを種から育てる予定。土に触れると身も心もリフレッシュ!!



「着手成春」(ちゃくしゅせいしゅん)春は生命力の象徴で直接行うことで春ができる。つまり、手を着ければ春を成すという意味です。みなさんにとって一年が着手成春であることを願います。次回号は50回目の節目となります。

私たちのおすすめスポット

あなたは海派?山派?



4月24日に半径1キロの立入規制が解除された阿蘇中岳第1火口。火山を見たのは何十年ぶりだろうか?「火山ガスが出ているので注意」とアナウンスが流れていましたが、多くの見物客で賑わっていました。最近、国内外で火山の噴火が頻発しているので、内心ドキドキの見学でした。1/0



GW後半天気も良いので、天草を目指しました!途中、車のトラブルにより2時間程足止めとなりましたが、急ぐ旅ではなかったもので、空いた時間に子供たちと海辺で貝殻を拾っていると、沢山の小カニをGET。そのうち引き潮となり、その景色のおかげで渋滞のノロノロも心地よいドライブとなりました。T/B



吉無田高原 出発!!

学而創新 「古きを学びて新しきモノを造る」

身近な土木文化への思い

宮川の川づくり(岐阜県飛騨高山)



国選定重要伝統的建造物群保存地区を流れ、地域の人々の生活と生業が密接に結びついている川です。対象箇所付近は過去の増水で浸水被害を受けており人々の安全・安心を確保するための護岸整備や河床掘削が行われています。周辺景観に影響を与えない石材を主材料としているほか、底生生物の移動障害とならないように巨石積による魚道整備などが行われています。また、高水敷など治水・利水・親水全てが揃った空間です。本来あるべき川の姿を考えた河川整備であると感銘。土木に係わる技術者として人々の安全安心を確保しさらに地域の生活、生業を理解した対策を考える能力を高める研鑽に心がけたいです。K/N

黒部第4ダムに思う



先日、社内旅行で訪れた黒部ダム。総工費513億円(当時)殉職者171名、延べ1000万人の人手により完成した堤体高186m(日本一)のダムは、ダム湖(黒部湖)や3000m級の山脈に囲まれた景観が本当に美しく感動的でした。黒部ダムはドーム型アーチダムで、上から見るとアーチ型(円弧)、横から見ると上部が前傾し、少ないコンクリートで荷重を支持する構造となっている。また、地形の関係で両端の支持岩盤が確保できず、ウイング(重力式)で補強しているため、両端が「くの字」となっている。黒部ダムの放水は観光放水であり、発電に使う水は取水口から10km離れた地下発電所に流れる。周辺の地形、地質等も含め見処の多いダムでした。K/S

■後記:熊本地震から2年復興に向かって少しずつ足跡が見え始めました。復興の過程をスケッチや写真で伝える機会にもなりました。水源が枯れた南阿蘇村の塩井社水源など暮らしや風景が変わった地域もあり、その現実を伝えるべきことが沢山あります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は職員の協力で発信しています。

北陸の旅

先月、社内旅行で訪れた「黒部ダム」で迷うことなくダムカレー注文。ダムカードもGet!!全国でもダムのある所には、ほとんどある「ダムカレー」熊本では、3月に大幅に姿を変えた水上村のダムカレーが個人的には気に入っています(笑)



4月末に慰安旅行で富山県のアルペンへ行ってきました。天気が心配されましたが、当日は雲一つ無い晴天!!奇跡的に雷鳥を見る事も出来ました。17mの雪の壁は圧巻でした!

雷鳥を見ることができました~!!!!



歩く目的は人それぞれ....

普段は車での移動が多く、携帯の歩数を見ると、平均2000歩程の毎日。しかし、見たい景色や食べ物の為ならば、10キロでも歩いてしまう(笑)不思議ですね~

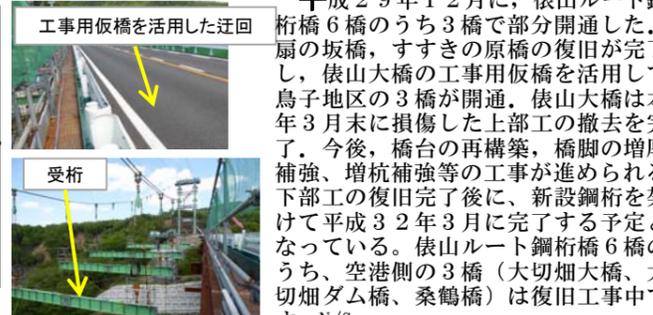
Civil Engineering

雪国の生活道の知恵(地下水利用)



北陸地方の金沢へ行った際、道路や歩道等の中央部に埋込み支柱のような形状をした珍しい装置を目にしました。除雪や融雪等を目的とした「消雪パイプ」と呼ばれる装置で、雪の多い一部の地域で等間隔に設置されたパイプは、地下水を路面上に噴出し、道路等の雪を溶かす役割の他、路面凍結を防ぐ役割を持ち、「地下水が湧き出ている所では雪が溶けている」との現象からヒントを得て昭和36年、新潟県長岡市の道路一部に全国初の消雪パイプが設置されたそうです。九州地方では馴染みが少ないですが、消雪パイプの有無により積雪時の道路事情は大きく左右されると感じました。車両走行時には目に留めないものも、歩くことで新たな発見できます。T/M

熊本の鋼橋(No.12)



平成29年12月に、俵山ルート鋼桁橋6橋のうち3橋で部分開通した。扇の坂橋、すすきの原橋の復旧が完了し、俵山大橋の工事前仮橋を活用して鳥子地区の3橋が開通。俵山大橋は本年3月末に損傷した上部工の撤去を完了。今後、橋台の再構築、橋脚の増厚補強、増坑補強等の工事が進められる。下部工の復旧完了後に、新設鋼桁を架けて平成32年3月に完了する予定となっている。俵山ルート鋼桁橋6橋のうち、空港側の3橋(大切畑大橋、大切畑中橋、桑鶴橋)は復旧工事中です。N/S

世界遺産 白川郷



白川郷を訪れる以上訪れる人への配慮が求められます。訪れる以上訪れる人への配慮が求められます。訪れる以上訪れる人への配慮が求められます。

俵山ルート鋼桁橋 6橋の復旧状況 鳥子地区の部分開通